

認定看護師の役割と活動

第6回 『がん放射線療法看護認定看護師』

社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院

あきやま かおり
秋山 香織 様

令和3年5月掲載

放射線療法は、がん治療の1つであり、がんに対して放射線を照射する事で「がんを消滅させる根治照射」と「がんによる症状を和らげる緩和照射」があります。体に傷をつける事なく治療を行うため、体への負担が少なく、高齢の患者さんや基礎疾患をお持ちの患者さんにも適応となる場合が多く、年々需要が高まっている治療です。また、がん治療＝手術と連想される方が多いと思いますが、近年は放射線療法が進歩し、がんの種類やステージ（病気の状態）によっては手術と同等の治療効果が認められる治療です。放射線療法を行うためには放射線を発生させる専用の装置が必要です。道南・檜山地域では市立函館病院、国立病院機構函館病院、函館五稜郭病院の3施設で受ける事ができます。治療は治療台の上に仰向けになり、治療時間は10～20分程度で終わります。治療部位によっては固定具（体を固定する物）を使用する場合があり、多少の圧迫感を感じる事がありますが苦痛はほとんど感じません。治療

期間は1～8週間、毎日、月曜日～金曜日に治療を受けて頂くことで治療効果が得られます。苦痛がほとんど感じないとはいえ、有害事象（副作用）が全くないわけではなく、放射線が照射された範囲には皮膚の炎症やかゆみ、のどの痛みなどの有害事象が現れます。

がん放射線療法看護認定看護師の役割は、この有害事象に対して専門的な知識や技術を用い、治療開始前から予防方法や日常生活の注意点などを具体的に分かりやすく説明し、予定通りに治療を終える事ができるようにサポートをしています。放射線療法を受けるか迷われている患者さんやご家族には、放射線療法はどのような治療であるかを情報提供し、患者さんが望む治療方法を選択できるようにサポートを行います。また放射線療法を選択される患者さんの年齢層は幅広く、仕事や子育て、介護などの状況を抱えながら受ける方も多くいらっしゃいます。ご希望に沿った形で、毎日休まずに治療を受ける事が出来るように、治療時間及び治療環境の調整や精神的サポートを行い、患者さんとご家族が安心して放射線療法を受けることが出来るようにしています。治療前には、毎回看護師が面談を行い日々の体調の変化、治療を受ける上での問題が発生していないかを確認しながら治療を行っています。

院内の活動は、看護師を対象にがん看護専門研修会の企画・開催をし

ています。放射線療法は、看護師にとっても理解しにくい治療です。研修会では、治療装置の見学や固定具装着などを参加者に患者体験してもらい、少しでも患者さんの気持ちを理解できるような内容で開催しています。

院外の活動としては、看護専門学校で看護師を志す学生に講義を行っています。教科書の内容だけではなく、現場で実際行っているケア方法、患者指導内容、症例紹介など興味を持てる講義内容を意識して行っています。その他、道南に在籍する認定看護師の会「道南がん看護研究会」の一員として活動しており、道南圏の医療者向けにがん看護勉強会の企画・開催に携わっております。

北海道には、がん放射線療法看護認定看護師が 18 名在籍しております。殆どの施設は、1 名多くても 3 名の在籍で、ケア方法などで悩んだ時に相談する仲間が少ない為、困る事が多い現状があります。気軽に相談してアドバイスを受ける事が出来るように、「北海道放射線療法看護認定看護師会」でメーリングリストを作成し、情報交換が出来る環境を整えています。2019 年度には、北海道放射線療法看護認定看護師会のメンバーで、放射線療法に携わる看護師の質向上を目指して、北海道がん放射線看護セミナーを札幌市で開催しました。2020 年度も開

催予定ではありましたが、コロナウィルスの影響により開催できませんでした。今年度は、継続して開催出来るように、企画していきたいと思っています。

今後も、放射線療法を受ける患者さんとご家族が、毎日不安なく過ごせるように努力していきたいと思います。

●現在、函館市内では下記の病院に在職しています●

函館五稜郭病院・函館おしま病院